

## 入試結果

	選抜Ⅰ			選抜Ⅱ		
	募集定員	受験者数	倍率	募集定員	受験者数	倍率
2018年度	64名	109名	1.70倍	256名	296名	1.16倍
2019年度	56名	101名	1.80倍	224名	275名	1.22倍
2020年度	56名	91名	1.63倍	224名	283名	1.25倍

## 2021年度募集要項

### ◆選抜Ⅰ

- <募集定員> 56名(20%)
- <選抜方法> 調査書・面接+小論文

>> 2020年度入試実施状況<<

- <小論文> 50分・600字以内、30字以内、他
- <面接> 8分・個人面接(先生2人・生徒1人)

### ◆選抜Ⅱ

- <募集定員> 224名(80%)
- <傾斜配点> 数学・英語2倍
- <学力・調査書> —

## 学校情報

### ●立地環境

- JR山陽本線、広電宮島線、バスが利用でき、通学の便がとてよく、遠距離通学も可能。

### ●授業内容・時間について

- 1コマ50分の月水金7限・火木6限混合授業、週33コマの授業を展開している。大学入学共通テスト5教科7科目型に完全対応したカリキュラム。
- 平日補習を1～3年で行っている。3年は全科目、2年・1年は英・数・国に対応している。
- 土曜日・日曜日は全学年を対象に自習室を開放している。
- 2021年度入学生から、一人1台パソコン所有を進めていく予定。

### ●英語外部検定について

- 2018年度入学生よりGTECの全員受験を行っている。2・3年生においてGTEC検定版を受験し、オフィシャルスコアの発行を受けている。

### ●修学旅行について

- オーストラリアとハワイに姉妹校を持ち、相互ホームステイによる国際交流を続けている。H14年度からハワイへの修学旅行を実施し、2年生全員でのハワイ姉妹校訪問を行っている。(今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、修学旅行は国内に変更。)同窓会の援助によるハワイへの奨学生派遣制度もある。平成30年度より、留学生をリーダーとした英語のみのグループディスカッションを中心とする「エンパワーメントプログラム」を希望者対象で実施し、異文化コミュニケーション能力とリーダーシップの育成を図っている。

### ●行事について

- 今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、大幅な行事の見直しを実施。体育祭代替行事(9月)、修学旅行(1月沖縄研修旅行)、クラスマッチ(3月)、百人一首かるた大会(高1 / 1月)など。4月に縦割り学年で実施予定であった遠足は11月に延期。

### ●部活動について

- 部活動加入率は90%以上。昨年度は陸上競技部がインターハイに出場、放送部と写真部、科学部が文化部のインターハイにあたる全国高等学校総合文化祭に出場、さらに放送部はNHK杯全国高校放送コンテストにも出場。
- 文化系も、部の数が16部と充実している。放送部、文芸部、演劇部、吹奏楽部、さらに県内では珍しい箏曲部も活躍している。
- 多くの生徒が結果だけでなく、社会性を身につけ「チーム井口」として組織的に活動している。

### ●学校施設について

- 水はけ抜群のグラウンドは野球・サッカー・陸上の3部が同時に練習可能。
- テニスコート4面のうち2面は県立高校では数少ないオムニ(人工芝)コート。
- 特別教室を含む全教室に冷暖房完備。

### ●模擬試験について

- 模試は原則全員受験。全学年で全統模試、進研模試を受験。駿台の模試(高1～3希望者のみ)も受験。高3は年間10回以上の模試を受験している。

## クラブ活動

- 体育系 野球/サッカー/テニス/バレー/剣道/バスケット/ソフトテニス/陸上/卓球/弓道/バドミントン
- 文化系 吹奏楽/演劇/合唱/茶道/科学/文芸/放送/ESS/書道/華道/写真/美術/電算機/JRC/箏曲

## 進路実績

大学の合格実績については、現役生・過年度生の合計人数。

	難関国立大	広島大	国公立合計	早慶上理	明青立法中	関関同立	私大合計	短大	専門学校	就職
2018年度	3名	15名	114名	4名	10名	58名	556名	8名	17名	0名
2019年度	4名	14名	127名	1名	8名	39名	561名	5名	21名	0名
2020年度	2名	11名	122名	2名	7名	29名	598名	5名	24名	1名